

防衛省・自衛隊六十周年 湯布院駐屯地開設五十八周年 西部方面特科隊創隊十二周年 記念行事

湯布院

第 53 号

発行者・由布市湯布院町川上
発 行・湯布院駐屯地後援会
印刷所・大野印刷株式会社



皆様いかがお過ごしでしょうか。朝晩は本当に寒さが厳しくなってきましたね。さて、十月二十六日(日)に、駐屯地創設五十八周年、特科隊創隊十二周年行事を開催致しました。十月の中旬まで台風が多、天候を心配しておりましたが、なんとか雨が降らず、晴天のうちに殉職者追悼式、記念式典、祝賀会食等の一連の行事を予定通り行うことができました。御来賓として元防衛庁長官の衛藤正士郎衆議院議員、前防衛大臣政務官の佐藤正久参議院議員をはじめ、由布防衛協会長の首藤孝文由布市長もご来賓として御臨席下さいました。一般の入場者も、昨年より千二百人多い三千二百人の皆様にご来場頂き、盛大のうちに実施することができました。



衛藤正士郎衆議院議員

本行事のメインは記念式典ですが、膝下部隊である健軍所在の第五地対艦ミサイル連隊を含め、特科隊の火砲、ミサイルに加え支援隊の整備器材、施設の渡河器材等が車両行進し、その威容を十分に感じて頂いたと思います。また訓練展示では、高機動防衛の主力である地对艦ミサイル連隊の射撃からロケット、火砲の

より火力戦闘そして装甲車部隊による突撃要領について見て頂き、いざという時我々がどのように国土防衛任務を遂行するのか、その一端を理解して頂きました。祝賀会食も沢山の地元の方々の岩男裕次郎様から御祝辞の中で「湯布院盆地で生活する我々を心から支援する」という励ましのお言葉に、隊員一同心強く感じた次第です。来年も同様の記念行事を計画しますので、今回来られなかった方々にもしっかりとPR宜しくお願いします。

また、十一月以降、方面隊の総力を結集して実施される「鎮西26演習」に湯布院駐屯地隊も主力として参加致します。年度を通じて準備してきた訓練ですので、それぞれの任務に応じて、関係地区から九州各県、離島に至るまで展開し、任務



観閲行進



佐藤正久参議院議員

また、十一月以降、方面隊の総力を結集して実施される「鎮西26演習」に湯布院駐屯地隊も主力として参加致します。年度を通じて準備してきた訓練ですので、それぞれの任務に応じて、関係地区から九州各県、離島に至るまで展開し、任務

運行能力の向上を図ります。この中で海上自衛隊だけでなく航空自衛隊とともに米軍とも協力し、様々な実戦能力を向上させ、かつ実際の部隊を行動させ、実戦能力の検証を固く予定しております。特に海上自衛隊との訓練においては、基地から艦艇、輸送艦等に乗り出し、約一週間にわたって船内での生活となります。なかなか、海上生活には不慣れなもので、大変ですが、これも訓練です。面張って参ります。この一、二年程前から海上自衛隊との訓練が活発化し、十月の初旬には佐世保から海上自衛隊十五名程が湯布院に研修に来てくれており、今回も訓練成果はもとより同じ訓練を経験した同僚として更に緊密な連携が構築されることも期待しています。今回の成果については、次回の広報紙にて紹介させて頂きます。この他、湯布院の皆様と

は「温かい支援(四月)」、(由布岳山開き祭(五月)、「ゆふいんSP・P・A・マラソン」等の他、コスモスや花の種まき支援でこころ寄せさせて頂きました。今後も「地域」とともに歩む湯布院自衛隊」を駐屯地の目標として、面張って行きますので、引き続きのご支援ご協力よろしくお願致します。



岩男裕次郎後援会長



訓練展示

は「温かい支援(四月)」、(由布岳山開き祭(五月)、「ゆふいんSP・P・A・マラソン」等の他、コスモスや花の種まき支援でこころ寄せさせて頂きました。今後も「地域」とともに歩む湯布院自衛隊」を駐屯地の目標として、面張って行きますので、引き続きのご支援ご協力よろしくお願致します。

は「温かい支援(四月)」、(由布岳山開き祭(五月)、「ゆふいんSP・P・A・マラソン」等の他、コスモスや花の種まき支援でこころ寄せさせて頂きました。今後も「地域」とともに歩む湯布院自衛隊」を駐屯地の目標として、面張って行きますので、引き続きのご支援ご協力よろしくお願致します。

は「温かい支援(四月)」、(由布岳山開き祭(五月)、「ゆふいんSP・P・A・マラソン」等の他、コスモスや花の種まき支援でこころ寄せさせて頂きました。今後も「地域」とともに歩む湯布院自衛隊」を駐屯地の目標として、面張って行きますので、引き続きのご支援ご協力よろしくお願致します。



祝賀会食



儀じよう隊



追悼文の串読

追悼式
駐屯地司令の挨拶より
偉人の話ですが、宗廟はポルトガルの総督が大砲の供与を求め、天正四年夏、ようやく手に入れ、肥後から臼杵丹生島城に運び、その大砲に「国崩くわんし」と命名し、天正十四年十二月の薩摩の島津氏との合戦で使用し、大小の玉を放ち戦果を取ったとされ、これが西洋からの最初の大砲伝来であるとされています。このように歴史のある地に火力の骨幹部隊である西部特科隊が配置されていること、また私にとって数少ない職種部隊での勤務の中で重砲部隊で勤務することに思いを致し、全国に誇れる部隊になれるよう日々精進していきたいと思っております。

は「温かい支援(四月)」、(由布岳山開き祭(五月)、「ゆふいんSP・P・A・マラソン」等の他、コスモスや花の種まき支援でこころ寄せさせて頂きました。今後も「地域」とともに歩む湯布院自衛隊」を駐屯地の目標として、面張って行きますので、引き続きのご支援ご協力よろしくお願致します。



湯布院駐屯地に着陸して早一年が経ちましたが、久しぶりの西方面隊であり九州出身ということも手伝ってか改めて九州の良さを感じています。全国色々な土地で勤務をして参りましたが、大分県には他に誇れるものが沢山あるように思っています。言わずと知れた日本一の湯と泉を誇る別府温泉、湯布院温泉をはじめとする各地の温泉群、全国八幡宮・八幡社の総本宮、総本社である宇佐八幡宮、県内各地で見られる五等々々の中でも多く見られます。その中の一つ、キリシタン大名と言われた大友宗稟という偉人の話ですが、宗廟はポルトガルの総督が大砲の供与を求め、天正四年夏、ようやく手に入れ、肥後から臼杵丹生島城に運び、その大砲に「国崩くわんし」と命名し、天正十四年十二月の薩摩の島津氏との合戦で使用し、大小の玉を放ち戦果を取ったとされ、これが西洋からの最初の大砲伝来であるとされています。このように歴史のある地に火力の骨幹部隊である西部特科隊が配置されていること、また私にとって数少ない職種部隊での勤務の中で重砲部隊で勤務することに思いを致し、全国に誇れる部隊になれるよう日々精進していきたいと思っております。

第一二二特科大隊長
二等陸佐 山本英一郎

新中隊長の紹介

第一三二特科大隊第三中隊長



一等陸尉
鈴木 宣彦
【前勤務地】
特科隊本部
【要項事項】
「捷」
一、即席せよ！
二、勝ちに拘れ！

第三〇二観測中隊

第三〇二観測中隊、中隊長西秀弘三等陸佐は、平成二十六年十月一日(念)から三日(念)の間、日出生台演習場において「平成二十六年度第三次小隊訓練検閲」を実施した。



空中標定小隊

佐多対空射撃

八月九日(土)から十四日(木)の間、西部方面特科隊は鹿児島県佐多対空射撃場にて実施された平成二十六年度佐多対空射撃訓練に参加し、一・七ミリの重機関銃の射撃訓練における精度向上を図った。

射撃を実施し万全な態勢で実弾射撃に臨んだ。各射撃組は、主要演習項目、組長は「的確な射撃指揮」「射距離及び軌道判定」、射手は「正確な射撃姿勢」「目標の発見、照準、追従及び射撃修正」の観測及び射撃の修正に基つき、実弾射撃に取り組んだ。天候に恵まれた射撃当日は、第五地対艦ミサイル連隊長徳橋一佐が視察するなか、各射撃組は上空を



隊容検査

三時間で構成並びに無線班による電報処理等を昼夜にわたり実施した。

各小隊は小隊長を核心として、全隊員が基礎動作を確行するとともに、各人が自己の任務を十分理解し、全隊員一丸となり任務を完遂、日頃の訓練成果を遺憾なく発揮し、二夜二日したける本訓練検閲を終了した。



基礎動作点検

左右に横行する目標RCMA T(無線誘導式小型航空標的機)に二発命中の成果を残した。



佐多射撃

中隊長集合訓練

九月十六日(木)から十八日(土)の間、湯布院駐屯地において平成二十六年度西部方面特科隊中隊長集合訓練を実施した。当初、特科隊長による精神教育が行われその後、隊本部各科長等が課目ごとに教育を担当し、中隊長としての職務遂行上の徹底事項を教育することにも、併せて中隊長の職務、権限等について教育し職務



隊長教育

新隊員特技課程等教育

九月十七日(金)駐屯地体育館において、西部方面特科隊は新隊員特技課程等修了行事を実施した。特科隊長は訓示のなかで「同期の絆を大切に社会人としての思いやりの心を持ち、この先いろいろな困難があると思うがしっかりと夢をもってもらいたい」と激励した。四十五名の新隊員は、特技のブロを指して特科隊内の各部隊に配属された。

優秀隊員の紹介

- 特科隊長表彰
 - 一等陸士 仲道 秋也
 - 二等陸士 中内 和徳
- 射撃優秀
 - 二等陸士 熊田 源希
- 体力優秀
 - 二等陸士 熊田 源希



修了行事

特技課程を修了して

後期教育を終えて、中隊に配属されるにあたり非常に身の引き締まる思いです。前期から数え約半年の教育期間を経て、私の心に「一番刻み込まれたことは、「同期との絆」ではないかと思えます。前期と後期で班長や班付、基幹要員は違えど上官の方々が口を揃え指導されたことは、「同期を大切にしろ!」「同期は助け合え!」というものでした。確かに考えてみるまで、同期と共に生活し同期と共に訓練に励み、周りを見渡せばいつでも同期に囲まれていて、それを当たり前だと認識していました。しかし、これからは何をやるにも上官の方々が居ますし、同期だけとの気兼ね無く過ごせる時間というのは、確かに減っていくだろうと思



第二区隊
二等陸士
大谷 周平



2区隊検閲



1区隊検閲



表彰者



1区隊



砲弾落下



2区隊



体力検定

駐屯地業務隊

業務改善陸幕採用

七月下旬、平成二十四年度の業務改善提案の採用通知が届き、業務隊から提出した二件の提案が陸幕採用の通知を受けた。内容は、水野曹長が「大腸がん検診表の通知医師所見欄の変更」、仲原二曹が「特別健康診断表の様式変更」であり、同じ部隊から陸幕採用が二件採用されることは稀であり、業務隊の業務改善意識が著しく高まった。



採用通知を受ける水野曹長



採用通知を受ける仲原二曹

プール運営

七月一日(火)から八月八日(金)までのプール運営のため駐屯地各部隊の協力を得てプール清掃を実施し、開設準備を完了した。また業務隊長及び各科長による安全祈願を実施して、プール運営中の無事故を祈願し、各部隊に水泳検定等の場を提供した。



盛り塩をして安全祈願する隊長



プール清掃に励む隊員

流しそうめん

補給科糧食班は、流しそうめんを、七月二十九日(火)から八月六日(水)までの期間限定で実施した。今年で四度目となり駐屯地の夏の風物詩となったこのイベントにたくさんの方々が参加をうづめた。



そうめん流しを楽しむ隊員

水源地清掃

七月十七日(水)、管理科普精班が主体となり、駐屯地の水源地清掃を実施した。暑い中での清掃でしたが、西方特科隊の協力もあり整齊と実施し良好な水源地環境の維持を図ることができた。



水槽内の泥の除去



広範囲にわたる水源地の草刈り

緊急登庁訓練

九月四日(水)、業務隊厚生科は、災害時発生時における緊急登庁訓練を実施した。今回の訓練は、子供一歩預かり所の開設から実際に隊員の子供の受け入れまでの訓練を実施した。

参加した隊員は、災害発生に備え終始熱心に訓練に取り組んでいた。



緊急登庁訓練受付業務

災害対処指揮所訓練

九月四日(水)、業務隊長(岡崎二佐)以下十三名は南海トラフ大地震対処に関する指揮所訓練を実施した。今回の訓練は災害時における隊の対処計画の作成及び計画に基づく各隊員の行動についての確認を実施し、来るべき大地震に備え万全を期した。



災害発生時の被害等の説明



兵棋を使用して美画配圖を指導

油流出時の対処教育

八月二十六日(火)、補給科燃料係が所属隊員に対して駐屯地内での油流出発生時に対する、対処教育を実施した。

内容は「吸着マット及びオイルフェンスの取り扱い要領」、「油流出時の報告要領」の教育であり、隊員は終始熱心に教育を受け、油流出時の対処要領について概要を習得した。



油流出時の対処教育

各種その他の業務



演習場民間監視員会議



木工集中運用作業



停電時の給油訓練



方面健康管理指導



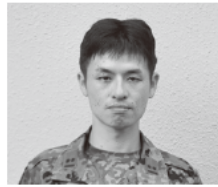
特別健康診断



即応予備自衛官雇用主の演習場視察対応

新部隊長紹介

第一三四地区警務隊 湯布院連絡班



二等陸尉
〔前勤務地〕
中央警務隊(市ヶ谷)
〔経歴方針〕
・行動すること
・常に笑顔で

第三〇四基地通信中隊 湯布院派遣隊



二等陸尉
〔前勤務地〕
第四通信大隊(福岡)
〔要望事項〕
相互信頼

第三〇四基地通信中隊

私は、九月十日付で基地通信隊に着隊しました。着隊前、後期の班長から「基地通信隊は事務作業ばかりで、あまり体を動かす機会がないぞー」と聞いていましたが、実際勤務してみると、電話工事や格闘、体力錬成に環境整備とわずかに三週間で「想像と全然違うな」と感じました。

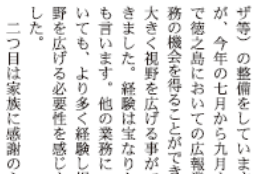
そして、九月二十七日には「大隊通信競技会」が実施され、私は新戦力としてチームの一員となり参加す



格闘訓練

ることができました。これは日々、黙々と続けた間稽古の結果だと思っています。今回私が派遣隊は、二十二年目中第三位という素晴らしい結果で終わり、自分も足を引っ張ることができなくて良かったです。

私は、この基地通信隊の中にライバルとして争う同期はいますが、先輩をライバルと思い先鞭を越すことをイメージしながら毎日を通じて新隊員らしく元氣



格闘訓練

第三〇四基地通信中隊
二等陸士 森山 祐輔



二等陸曹
池田 利輝男

第三〇三施設直設支援大隊
第一直設支援中隊
湯布院派遣隊



声かけ運動

駐屯地曹友会は秋の交通安全運動に参加した。九月二十二日(土)は乙丸公民館前交差点において各分会から五名の会員が、九月二十六日(金)には前徳野交差点において一二大隊分会より七名の会員が安全運転推進に貢献した。



各部隊の曹友会役員



支援隊員の集合写真

若宮八幡みこし支援

操縦訓練について
私は、今年四月から七月までの約三ヶ月、相浦駐屯地の相浦車両教育隊へ入隊し、大型免許を取得しました。そして原簿復帰後約一ヶ月間、操縦訓練を行いました。

私は入隊前に免許を取得していましたが、いわゆるペーパードライバーであったため、当初は過度に緊張してしまい、ノロノロ運転になってしまったり、あまりスムーズな操縦ができませんでした。しかし、操縦訓練を繰り返すことで徐々に運転に慣れていくことができました。また、同乗して下さった陸曹の方から運転時のコツやアドバイ

これは、平成一十六年四月から平成二十七年三月までの予定で日出生台演習場メガネ原新設道路整備を実施しています。

この道路整備は、急勾配で幅員の狭い既設の道路を迂回する道路の新設工事です。

曹友会
駐屯地曹友会は、九月三日(土)及び十五日(日)の両日、二十五名の人員を以って湯布院町若宮八幡宮みこし担ぎを支援した。両日ともに二基のみこしが町内をまわり、その一基のみこしの担ぎ手を曹友会が担

これからの自分
今回、広報誌さくらじまに投稿する機会をいただきましたので、これからの自分について二つに分けて紹介しようと思います。

一つ目は業務の視野を広げることです。日頃は自衛官として施設器材(民間で言えばグレーダ、ブルドーザ等)の整備をしています。が、今年の七月から九月まで徳之島における広報業務の機会を得ることができ、大きく視野を広げる事ができました。経験は宝なりとも言えます。他の業務についても、より多く経験し視野を広げる必要性を感じました。

中隊は、平成二十六年四月から平成二十七年三月までの予定で日出生台演習場メガネ原新設道路整備を実施しています。

この道路整備は、急勾配で幅員の狭い既設の道路を迂回する道路の新設工事です。

より良く訓練実施できる道路を無事故で完成させることをめざし、日々努力し、道路整備に邁進します。

工事の様子

第一〇三施設直設支援大隊
第一直設支援中隊湯布院派遣隊

点検終了準備よし

工事の様子

曹友会

曹友会

曹友会

曹友会

記念講話



熱心に拝聴する隊員

十月十四日(火)湯布院駐屯地は、防衛省・自衛隊六十年、湯布院駐屯地開設五十八周年及び西部方面特科隊創設十二周年記念行事に伴う記念講話を実施した。

講師に、デー・エス・ケイ・ジャパン株式会社代表取締役社長の原一洋先生をお招きし「私の物の見方、考え方、捉え方」と題し、駐屯地司令以下約六〇〇名の隊員に対して講話をして頂いた。約二時間の講話、安岡正憲先生の教えを汲む含蓄の深い人生哲学をべりすとした、有意義な素晴らしい記念講話を拝聴することができた。

感謝状受賞者の紹介

十月二十六日(日)駐屯地において、防衛省・自衛隊六十年湯布院駐屯地開設五十八周年及び西部方面特科隊創設十二周年記念行事に先立ち、平素から湯布院駐屯地へご支援ご協力を頂いている個人十二名に対し、駐屯地司令より感謝状と記念の額が贈呈された。



記念集合写真



授賞式の様子

★受賞者

- 日野剛之介様
- 加藤 勝美様
- 森野 猛様
- 森 玲子様
- 田代昌一郎様
- 生野 満様
- 矢野 文雄様
- 箕 喜久夫様
- 江川 克一様
- 門脇 英二様
- 平山 勝治様

受賞おめでとうございます。

予備自衛官招集訓練



開始報告

九月二十五日(木)から三十日(火)までの間、西部方面特科隊は第一次予備自衛官招集訓練を第一二特科大隊が担任部隊となり、予備自衛官としての資力の養成、知識及び技能程度の維持を図った。今回は、五

SPAMARSON支援

九月七日(日)湯布院町において、第二十四回ゆいん盆地SPA健康マラソン大会が開催され、湯布院駐屯地から十九名の隊員が給水、通信、患者搬送、輸送等の支援を行った。

大会当日は、天候にも恵まれて約一六〇〇名の参加者が県内外から訪れた。選手の中には仮装して参加する者もぞんざいとして参加する高齡者もエントリーするなどそれぞれが大会を楽しんでいる様子が見られました。



10Kスタート



通信・救護支援



給水支援

だ、コース上で配置に付いた支援隊員らは、与えられた任務を密着と行い大会の競技運営に貢献した。

訓練アラカルト



人命救助訓練(本部中隊)



射撃指揮眼技会(112大隊)



重要施設防護教育(球統制)



燃料注入訓練(第五地対艦)



M31観測訓練(十文字原)



南海トラフCPX(隊作戦室)

卓球の魅力

二十六年度(平成26年度)の全日本実業団卓球選手権大会(団体戦)が、七月十七日から二十日まで、愛媛県武道館で開催されました。駐屯地卓球部は大分県予選を三位で通過して県代表チームとして参加をさせていただきました。



よか趣味

自分の趣味はゴルフです。十四年前に先輩に薦められ始めたのがきっかけです。始めた当初は停止しているボールを打つのは簡単だと思つていましたが、実際にやってみると思うように打つ事が出来ませんでした。技



みんなの投稿広場



最前上、また部外広報に寄与するとともに駐屯地内のクラブや他駐屯(基)地卓球愛好者に刺激を与えられる存在を目指して活動していきたいと思つています。

駐屯地卓球部部長
駐屯地援護室
陸曹長 池田 勇一

平成二十六年年度 前期転出入

転入者の紹介

- 特科隊本部**
- 第一特科隊 (奥野)
- 三佐 住野 浩史
- 第八特科連隊 (北熊)
- 一尉 成迫 隆徳
- (九州補給処) (天分)
- 三尉 林 初尚
- 本部中隊**
- (小平学校) (小中)
- 曹長 嶋末 貴志
- (大分地方協力本部) (天分)
- 一曹 下村 一史
- 第一二特科大隊**
- (特科教導隊) (富士)
- 一曹 渋谷 英樹
- (第一空挺団) (富士野)
- 二曹 飯嶋 哲也
- (第四特科連隊) (久留米)
- 二曹 今村 裕広
- 第一三二特科大隊**
- (特科教導隊) (富士)
- 二曹 佐藤 正幸
- 第三〇二観測中隊**
- (第四特科連隊) (久留米)
- 一曹 小長 克己
- (第四特科連隊) (久留米)
- 三曹 植松 直也
- 第一〇一特科直接支援隊**
- (高等工科大学) (武山)
- 一尉 首藤 仁
- (大分地方協力本部) (天分)
- 三曹 山野麻紀子

第三六八施設中隊

(第三六八施設中隊) (飯塚)

二尉 石黒 将夫

(大分地方協力本部) (天分)

一曹 帆足 英晴

第三九四会計隊

(第三二六会計隊) (船橋)

三尉 河島 勝喜

駐屯地業務隊

(大分地方協力本部) (天分)

二尉 倉野 浩成

(中部方面衛生隊) (伊丹)

二曹 松岡 利重



転入者紹介行事

転出者の紹介

特科隊本部

(第六特科連隊) (郡山)

三佐 勝田 和彦

(幹部学校) (自衛)

一尉 小坂 英之

(熊本病院) (熊本)

三尉 木村 輝久

本部中隊

(大分地方協力本部) (天分)

准尉 岩永 忠士

第一二特科大隊

(久留米駐屯地業務隊) (久留米)

准尉 三善 勝次

(大分地方協力本部) (天分)

一曹 秋好 公志

第三〇四基地通信中隊

(北熊本駐屯地業務隊) (熊本)

二曹 稲田太一郎

第一三二特科大隊

(駐屯地業務隊) (須布)

二曹 山本 史人

(中央業務支援隊) (市ヶ谷)

三佐 太田 陽司

(第四特科連隊) (久留米)

一曹 安藤 智洋

(北熊本駐屯地業務隊) (熊本)

二曹 佐伯 俊洋

第三〇二観測中隊

(第四特科連隊) (高良野)

二尉 長崎 勝

(大分地方協力本部) (天分)

一曹 塩月 秀人

第一〇一特科直接支援隊

(西部方面後方支援隊) (自衛隊)

三佐 加藤 晴世

(西部方面後方支援隊) (自衛隊)

一尉 戸村 和明

(別府駐屯地業務隊) (別府)

二尉 中越 幸雄

(編設教導隊) (鹿田)

三曹 木崎 卓也

第一〇三施設直接支援中隊

(第三〇三施設直接支援大隊) (小部)

准尉 有馬 康吉

第三〇四基地通信中隊

(第三〇四基地通信中隊) (福岡)

三尉 深町 秀樹

第一三四地区警務隊

(福岡方面警務隊) (熊本)

二尉 岩田 恭明



転出者紹介行事

駐屯地業務隊

(熊本) (十日)

監隊長 山崎 努

駐屯地業務隊

(福岡) (九月 十日)

一等陸曹 堤 義久

第一〇三施設直接支援中隊

(鹿田) (九月 十日)

監隊長 山下 政勝

昇任者の紹介

- ★一等陸尉へ
- 特科隊本部 奥野 剛
 - 江川 浩之
- ★二等陸尉へ
- 野原 裕一
 - 阿南 雅詞
 - 上村 淳
- ★三等陸尉へ
- 原正 正行
 - 吉光 弘幸
 - 常田 晴康
 - 吉田 忠男
 - 緒方 慎一
 - 峯 公則
 - 若林 克信
 - 飯干 修治
 - 佐々木聖治
 - 古浦 貴之
 - 湯田光一郎
 - 久保健一朗
 - 垣添 友和
 - 加藤 英樹
- ★本部中隊
- 小野 優史
 - 高島 伸治
 - 上原慎一郎
 - 花岡 幸祐
 - 田畑 倫弘
 - 堀 力
 - 吉水 哲宏
 - 吉田 恭兵
- ★二等陸曹へ
- 神路 拓哉
 - 吉武 健次
 - 野原 匠
 - 上松 港
 - 阿南 雅詞
 - 上村 淳
 - 緒方 洋平
 - 平松 顕
 - 児玉 達也
 - 吉野 洋平
 - 中村 勇樹
 - 阿部 晃一
 - 古川 星弥
 - 後藤 舜成
 - 堤 克
- ★第一二特科大隊
- 高島 伸治
 - 上原慎一郎
 - 花岡 幸祐
 - 田畑 倫弘
 - 堀 力
 - 吉水 哲宏
 - 吉田 恭兵
- ★第一三三特科大隊
- 堀 力
 - 吉水 哲宏
 - 吉田 恭兵
- ★第三〇二観測中隊
- 神路 拓哉
 - 吉武 健次
 - 野原 匠
 - 上松 港
 - 阿南 雅詞
 - 上村 淳
 - 緒方 洋平
 - 平松 顕
 - 児玉 達也
 - 吉野 洋平
 - 中村 勇樹
 - 阿部 晃一
 - 古川 星弥
 - 後藤 舜成
 - 堤 克
- ★第三〇一特科直接支援隊
- 緒方 洋平
 - 平松 顕
 - 児玉 達也
 - 吉野 洋平
 - 中村 勇樹
 - 阿部 晃一
 - 古川 星弥
 - 後藤 舜成
 - 堤 克
- ★第三六八施設中隊
- 阿部 晃一
 - 古川 星弥
 - 後藤 舜成
 - 堤 克
- ★第一二特科大隊
- 小野 優史
 - 高島 伸治
 - 上原慎一郎
 - 花岡 幸祐
 - 田畑 倫弘
 - 堀 力
 - 吉水 哲宏
 - 吉田 恭兵
- ★第一三三特科大隊
- 堀 力
 - 吉水 哲宏
 - 吉田 恭兵
- ★第三〇二観測中隊
- 神路 拓哉
 - 吉武 健次
 - 野原 匠
 - 上松 港
 - 阿南 雅詞
 - 上村 淳
 - 緒方 洋平
 - 平松 顕
 - 児玉 達也
 - 吉野 洋平
 - 中村 勇樹
 - 阿部 晃一
 - 古川 星弥
 - 後藤 舜成
 - 堤 克
- ★第一〇一特科直接支援隊
- 緒方 洋平
 - 平松 顕
 - 児玉 達也
 - 吉野 洋平
 - 中村 勇樹
 - 阿部 晃一
 - 古川 星弥
 - 後藤 舜成
 - 堤 克
- ★第三六八施設中隊
- 阿部 晃一
 - 古川 星弥
 - 後藤 舜成
 - 堤 克
- ★第一二特科大隊
- 小野 優史
 - 高島 伸治
 - 上原慎一郎
 - 花岡 幸祐
 - 田畑 倫弘
 - 堀 力
 - 吉水 哲宏
 - 吉田 恭兵
- ★第一三三特科大隊
- 堀 力
 - 吉水 哲宏
 - 吉田 恭兵
- ★第三〇二観測中隊
- 神路 拓哉
 - 吉武 健次
 - 野原 匠
 - 上松 港
 - 阿南 雅詞
 - 上村 淳
 - 緒方 洋平
 - 平松 顕
 - 児玉 達也
 - 吉野 洋平
 - 中村 勇樹
 - 阿部 晃一
 - 古川 星弥
 - 後藤 舜成
 - 堤 克
- ★第一〇一特科直接支援隊
- 緒方 洋平
 - 平松 顕
 - 児玉 達也
 - 吉野 洋平
 - 中村 勇樹
 - 阿部 晃一
 - 古川 星弥
 - 後藤 舜成
 - 堤 克
- ★第三六八施設中隊
- 阿部 晃一
 - 古川 星弥
 - 後藤 舜成
 - 堤 克

定期表彰者

- ★三級賞詞(職務遂行)
- 特科隊本部 三尉 木村 輝久
 - 本部中隊 曹長 福嶋 広幸
 - 第一三三特科大隊 三佐 田久保 智
 - 第一〇一特科直接支援隊 三佐 加藤 晴世
- ★三級賞詞(業務改善)
- 駐屯地業務隊 曹長 水野 祐広
 - 曹 仲原 誠
- ★四級賞詞(職務遂行)
- 特科隊本部 一尉 鈴木 宣彦
 - 本部中隊 二尉 江川 浩之
 - 曹長 小野 正和

広報の新顔

この度の定期異動で第三〇二観測中隊から広報室に配属になりましたのでぜひ、皆さんご覧下さい。どうぞよろしくお願します



第一科広報室 藤原 友恵 二等陸曹

第三〇四基地通信中隊

曹長 菅原 拓哉

第一〇一特科直接支援隊

曹長 菅原 拓哉

第三六八施設中隊

曹長 菅原 拓哉

第一二特科大隊

曹長 菅原 拓哉

第一三三特科大隊

曹長 菅原 拓哉

第三〇二観測中隊

曹長 菅原 拓哉

第一〇一特科直接支援隊

曹長 菅原 拓哉

第三六八施設中隊

曹長 菅原 拓哉

第一二特科大隊

曹長 菅原 拓哉

第一三三特科大隊

曹長 菅原 拓哉

第三〇二観測中隊

曹長 菅原 拓哉

第一〇一特科直接支援隊

曹長 菅原 拓哉

職場体験(インターンシップ)

湯布院駐屯地では、七月八日(火)から九日(水)までの間、由布市立湯布院中学校の生徒三名と七月十四日(月)から十六日(水)の間、大分県立由布高校の生徒五名に対してそれぞれの期間において職場体験を行った。参加した生徒達は、自衛隊の活動状況についての説明や駐屯地内の施設や事務室などを見学し色々なことを体験した。終了後生徒からは「大変、勉強になりました。自衛隊に興味がわきました。」等のお礼の手紙が届いた。



基本教練



行進体験



救急法体験

防衛・防災フェア

七月十二日(土)から十三日(日)の間、西部方面特科隊は別府市ヒーコンプラザで実施された九州地区大会2014別府大会地域活性化からいち大会に合わせた「防衛・防災フェア」において、96式装輪装甲車(WAPC)の装備品展示支援を実施した。



記念撮影



展示されたWAP



装備品展示会場

また、多くの来場者が訪れた。また、隊員への質問や、車両等に乘車して記念撮影をするなど防衛・防災意識の高揚に貢献した。

生活体験

九月八日(月)から十日(水)の間、湯布院駐屯地において本部中隊長健二(尉)が担任官となり日産プリンス大分販売株式会社社員の社員十五名に対し隊内生活体験を実施した。大分県内の各営業所から参加した社員は部隊に到着後、着慣れない迷彩服と半長靴に着替え、担任官へ着隊報告したのち開始した。生活体験では、団体系生活に



報告

行事アラカルト

必要なお話、規律・士気、生活に初めは少し戸惑いながらも、助長の指導を受けながらそれぞれが前向きに取り組み三日間の生活体験を終了した。「心身共に成長できた三日間でした。」「貴重な体験ができてとても良かった。」などの感想をいただいた。



整頓



サマーフェスタ in 佐伯



修習会ボランティア清掃



部隊見学(福岡教育連盟部)



駐屯地納涼大会

へり体験

九月二十七日(土)湯布院駐屯地では、西部方面へりコプター隊第一飛行隊目(連)の支援を得て、モーター及び協力者など四十七名に対してへり体験搭乗を実施した。当日は、雲の多い不安定な天候ではあったが予定通り実施され、約二十分間のフライトを満喫した。参加者からは「大変良かった。楽しかった。」等の感想が聞かれた。



フライト終えた体験者

慶 弔

◆御結婚おめでとう

- 第一二 特科大隊 曹 佐藤 功一
- 第三三 特科大隊 一士 佐藤 博一
- 第三〇二 観測中隊 曹 中村 勇樹
- 第三二八 施設中隊 曹 菊田 正和
- 第三二八 施設中隊 曹 菊田 直美 (旧姓・東)

◆御出産おめでとう

- 本部中隊 曹 甲斐田修一 (二女・あおひ)
- 本部中隊 曹 後藤 洋修 (三男・政昭)
- 曹 村瀬 香織 (長男・遥紀)
- 曹 若林 克信 (二男・信秀)
- 曹 衛藤 佑太 (長男・翔磨)
- 曹 衛藤 男 (二男・心)
- 曹 柏木 里枝 (長男・翔磨)
- 曹 吉川 侑二 (二女・亜美)
- 曹 小原 俊祐 (長女・妃麻里)
- 曹 塩倉 雅史 (長男・優生)
- 曹 長岡 毅 (長男・明飛)
- 曹 成清 祐 (長女・まこ)
- 曹 有村 知大 (二女・羽琉)
- 曹 小宮 秀忠 (長男・岳也)
- 曹 山口 圭一 (二女・紗菜)
- 曹 上野 彰之 (二女・幸音)
- 曹 宮尾 一貴 (長女・楓)
- 曹 後藤 章仁 (二女・陽音)
- 曹 村瀬 健 (長男・通紀)
- 曹 松崎 一輝 (長男・一颯)
- 曹 津崎 崇 (長男・健吾)
- 曹 弓削 剛 (長男・蒼真)
- 曹 菊池 健司 (長男・泰智)
- 曹 菊池 舞 (長男・泰智)
- 曹 坂元 翔 (長女・楓)

◆お悔やみ申し上げます

- 本部中隊 曹 工 洋三 (義祖父)
- 本部中隊 曹 藤原 友恵 (祖母)
- 本部中隊 曹 佐藤香子 (義祖父)
- 第一二 特科大隊 曹 日野 義隆 (祖父)
- 第一二 特科大隊 曹 津田 芳朗 (祖母)
- 第一二 特科大隊 曹 古川 侑二 (義祖母)
- 第三〇二 観測中隊 曹 岩本 卓也 (実父)
- 第三〇二 観測中隊 曹 宮井龍之介 (伯父)
- 第三二八 施設中隊 曹 佐村 晃子 (祖父)
- 第三二八 施設中隊 曹 佐村 博文 (実父)
- 行(二) 4 曹 榎田 幹男 (実母)
- 行(二) 4 曹 日隈 孝夫 (実母)
- 行(二) 4 曹 小田 志利 (実父)